

直方文学散歩・短歌編
直方の歌碑巡り

直方は江戸時代から俳句（当時は俳諧と呼ばれていました）の盛んなところで、市内各所に句碑があります。

短歌を刻んだ歌碑は数が少なく、私の知る限りでは次の二つです。

多賀神社境内の釈迢空歌碑

多賀神社境内の手水舎の手前、鉄道線路側にあります。

昭和四十九年一九七四年に当時の多賀神社宮司の青山大麓（だいろう）によって建てられました。

歌人釈迢空・本名折口信夫（二八八七〜一九五三）は、国語学者として國學院大學教授・慶應義塾大学教授を務め、民俗学の分野でも「折口学」と呼ばれる研究で成果をあげており、青山大麓宮司の國學院大學での恩師でした。

歌碑の表面には、多賀の宮みこしすぎゆくおひかぜにわれはかしこまる神わたり給ふ裏面には、

筑紫の日若おどりを見にゆかんことを想えり三とせの後もと刻まれています。

この歌は昭和二十四年一九四九年に弟子の伊馬春部（本名・高崎英雄一九〇八〜八四）に案内されて多賀神社を参拝し、御神幸を見学して詠んだものです。

伊馬春部は木屋瀬出身の放送作家で旧制鞍手中学を卒業して國學院大學で折口信夫に師事、鞍手高校校歌の作詞者として知られています。ちなみに作曲者はNHK朝ドラ「エール」のモデルの古閑裕（ゆう）でした。



多賀神社境内の釈迢空歌碑

近津神社境内の黒田長清歌碑

頓野の福岡県立筑豊高校東側にあります。近津神社拝殿の右側にあります。

黒田長清は直方藩最後の第四代藩主で、元禄元年一六八八年から享保

五年一七二〇年までの三十二年にわたり藩主の座にありました。

風雅を愛する文人大名で、たびたび頓野内ヶ磯などに桜や紅葉の見物に訪れました。

元禄八年九月に近津神社に参詣したときに宮司の水田辰舎（すいたのり）が君がため一しはあきの色みせてにほうは岸（き）のみじなりけりと献上した歌に対して、

千加津川（ちかづがわ）きしのもみぢばこころあらばまた来（こ）む秋の色な忘れそと詠んだ返歌の両方が刻まれている極めて古い歌碑です。

長清の文化愛好が直方藩家臣にも影響を及ぼして俳諧師有井浮風（うゐうふう）（後に諸九尼（しよきうに）の夫）などが育っており、直方の文化の先達といえます。

嫡男が事情で福岡本藩六代藩主継高（つぎたか）となったため、後嗣不在の直方藩は長清の死後に廃藩となりました。



近津神社境内の黒田長清歌碑

直方の歴史と文化

文 桼 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,378 人（- 258） ■世帯数 27,312 世帯（+ 138）
[うち外国人 589 人]
男 26,641 人（- 76） すべて令和 2 年 9 月末現在
女 29,737 人（- 182） （ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月 1 日（月 1 回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT

インターネット
情報提供サービス

SNS や web サイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで